

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ワールド・ビーター II	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	ΔRG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ワールド・ビーター 2

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

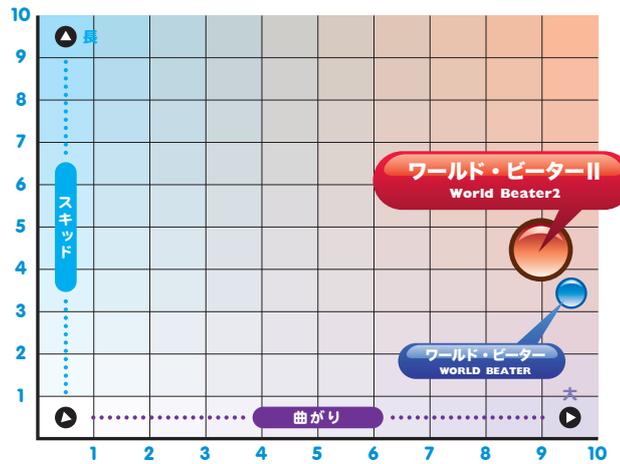
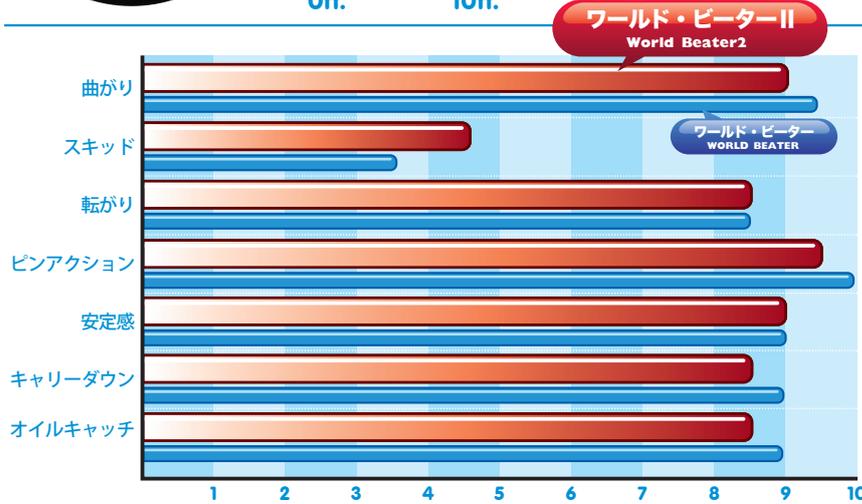
比較対照ボール：ワールド・ビーター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

今年1月中旬、ヘビーオイル対応として発売されたWORLD BEATER。スキッドは短く、かなり手前から起き始めるリアクション性能に「曲がるボールのイメージとして」先で動きが強調された曲がるボールを求めた方には物足りなさを感じたかもしれません。

今回リリースするWORLD BEATER 2に我々が求めたものは「オイルに対しての強さとメリハリ感」。オイルに対しての強さを損なわず、バックエンドで回転動力のエネルギーを開放できるようにSuper Tilt SolidカバーストックをSuper Tilt Pearlカバーストックに換え、前作WORLD BEATERよりもスキッド保ち、メリハリのあるバックエンドリアクションを実現させました。コア形状は前作と同じModified Arrowhead コア。表面加工も 800.1000.2000.2000アブラロンですが、カバーストックとの相互関係によりRG・ΔRG及びInt Diff をパフォーマンス重視のWORLD BEATER 2用に再設定しています。私を感じるWORLD BEATERとWORLD BEATER 2の違いは「ヘビーなオイルでやや真っ直ぐのラインを好む」のか「ミディアムヘビーで出し戻すラインを好む」ものかに分類でき、現状でおかれている日本のコンディション事情を考慮するとWORLD BEATER 2のほうがオイルに対しての強さと曲がりを実感できる幅が広いのではないか？という疑問に答えた日本監修の国際的な製品です。

オイルに対しての安定感と扱いやすい曲がりの中にも得られるメリハリ感。角が出るリアクション性能なボールでもなくとも攻撃的にラインを攻めることができるボールの真髄。それこそがこのWORLD BEATER 2です。

特記事項

前作同様スピードのある方はC/A・マスバイアスを強めのレイアウトで。平均的なボウラーならばC/Aをやや抑えたレイアウトでも十分パフォーマンスは得られると思います。